



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子正元

明けましておめでとうございます。

本県経済の状況を見ますと、自動車関連企業等において明るい側面が見られるものの、全般的には、依然として厳しい状況が続いています。

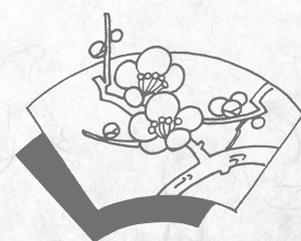
我々中小企業・小規模事業者においては、コストアップによる収益圧迫や短納期化、従業員の高齢化、人材確保等の課題に直面しており、加えて、TPP、中国をはじめとする新興国経済の減速、消費税対策など先行きに不安を抱えた状況にあります。こうした中、中小企業・小規模事業者は、中小企業組合という組織を活用し、様々な経営課題に対応しています。

「官公需適格組合証明」を取得し受注を伸ば

している組合、技術を持ち寄り新商品開発に取り組む組合、技能の向上と伝承に努める組合など、様々な活動を行っています。

市民生活と深く関わる組合も多く、最近では、自治体と災害支援協定を締結する組合が増えています。商店街組合の活動はまちづくりそのものであり、地場産業、温泉地には多くの組合が設立されており、水道・電気・ガスなどのライフラインを支える組合も各地にあります。このように組合は、組合員企業の支援という目的に加え、防災、伝統・文化、観光、衛生など様々な分野で市民生活を支える社会インフラという側面も持っています。

本会では、こうした組合活動を支援していますが、更に、将来の本県産業を支える人材を確保す



るための「合同企業説明会」や「マイナンバー制度研修会」、新規性の高い事業に対し助成する「組合新事業チャレンジ助成事業」など時宜に合った取り組みも行っていきます。

また、国の緊急経済対策事業にも取り組み、「ものづくり補助金」では、本年度までの3か年間で、47都道府県中第8位の採択件数となっています。

本年においても、中小企業組合等連携組織の専門支援機関としての役割を果たし、中小企業の経営に役立つ諸事業に取り組んで参る所存です。

結びに、本年が、皆様方にとりまして、大いなる飛躍の年となることを心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



群馬県知事

大澤 正明

新年明けましておめでとございませう。

群馬県中小企業団体中央会の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、「上野三碑」が世界記憶遺産の国内候補に選定され、「かかあ天下一ぐんまの絹物語」が日本遺産に認定されるなど、本県の歴史文化の奥深さを県内外に発信することができました。

またスポーツの面でも、「2015ぐんま冬国体」の開催や、初めてフルマラソンを導入した「ぐんま県民マラソン」が大成功を収めるなど、多くの皆さまに本県の魅力を感じていただけたものと思ひます。

さて、昨年の4月以降、県内経済は、自動車

関連産業で高水準の生産が続いているほか、個人消費は底堅く推移し、雇用・所得環境も改善が続くなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。

県といたしましては、この県内景気の回復をより確かなものとするともに、県民の安全・安心を確保し、将来にわたって県民生活の充実を図っていききたいと考えております。

時代の大きな潮流の中で、県政の最重要課題は、人口減少社会への対応であります。人口減少対策は、群馬の未来を切り拓いていくため、オール群馬で、総力を挙げて取り組むべき課題であると考えております。そのため、移住・交流人口の増加や新たな雇用の創出、少子化対策・子育て支援、障害者の就労・自立支援などに積極的に取り組みます。

特に、県外の大学に進学した若者のうち、卒業後群馬に帰る割合が半数にも満たない現状を打破するためには、県内に若者や女性が活躍できる場を確保しなければなりません。

そのためには、まず本県を支えている中小企業をはじめとした県内企業をしっかりと支援することが重要であり、7つの交通軸をはじめと

した社会基盤の整備を推進してまいります。

また、北陸新幹線の金沢延伸により一層高まった本県の拠点性を生かし、「人・もの・情報」を呼び込むことで都市力を高め、新たな拠点づくりや企業誘致、観光誘客、次世代産業の育成などにもしっかりと取り組み、県内経済の維持・発展に努めます。

こうした施策を、4月から新たにスタートする次期県総合計画の中にしっかりと位置付け、群馬県をさらに大きく羽ばたかせるため、これまで同様、県民目線・現場主義を徹底し、皆さまのご意見にしっかりと耳を傾けながら、全力で県政のかじ取りを行ってまいります。

本県経済の先導者であります中央会をはじめとする関係団体の皆様と連携しながら、ともに県経済の発展に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年が中央会並びに中小企業組合の皆様にとって、更なる飛躍の年となるよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

平成28年1月1日



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会



会長 大村 功作

明けましておめでとうございます。平成28年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長に就任後、初めて迎える新年であります。新会長として半年間を振り返りますと、消費税後の内需低迷の長期化に加え、中国経済の停滞による外需の減退により、多くの中小・小規模事業者は、昨年も景気回復の実感が得られない厳しい年でした。また、消費税の複数税率制度の導入やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の大筋合意など、中小・小規模事業者を取り巻く事業環境は、急速な変革を迎えることとなりました。

政府は、新たに「新・三本の矢」を掲げる

とともに、サービス業の生産性向上に向けた数値目標を設定するなど、「地方創生」「一億総活躍社会」の実現に向けて様々な政策の推進を図っています。

こうした中、昨年11月20日に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催した第67回中小企業団体全国大会では、中小・小規模事業者が連携・組織化を一層推し進め、IT投資や省力化投資を促進し、生産性の向上の担い手と地方創生の牽引役となること等の宣言をいたしました。

明けて平成28年こそは、全国の中小・小規模事業者が「稼ぐ力が付いた」と実感できる年になることを強く期待しています。そのためには、生産性の向上によって利潤の獲得と内需・消費拡大を進め、地域資源や農工商連携の促進、TPPの活用を踏まえた海外展開や観光関連産業間の連携強化など攻めの経営力強化と人材の育成・確保について、組合をはじめ中小・小規模事業者が「群」となって積極的に取り組んでいく必要があります。

まもなく、東日本大震災発生から5年となりますが、被災地の復興はまだ道半ばという状況です。復興の加速化に向け中央会の持つ

組織・人的ネットワークをフルに活用して、最大限の支援の継続を行って参ります。

本会は、今年創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた全国中央会の運営に携われることを誇りに、「団結は力、見せよう組合の底力」の具現化に向けて邁進して参ります。

本年が、中小・小規模事業者が持ち前のバイタリティを大いに発揮し、良き1年となります。まずことをご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦



年頭所感

株式会社商工組合中央金庫前橋支店



支店長 松尾 悟志

平成28年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、海外経済の減速が国内に波及し、景気回復は緩慢なものとなりました。中小企業の景況感を当金庫の「中小企業月次景況観測」でみますと、景気判断指数は好転・悪化の境目となる50手前での動きが続き、持ち直しに停滞感がみられました。

具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、雇用環境の改善が成長を下支えしましたが、新興国経済の不透明感から輸出の伸び悩みや国内生産活動の停滞につながりました。また、一部の業種では円安に伴う仕入価格の

高止まりや、労働需給の逼迫による人件費負担の増加などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

このような環境のもと、商工中金は第三次中期経営計画の初年度として、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み中小企業の皆さまや、原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、地域金融機関と協調しながら、地域経済への波及力が高い中核企業に対する「地域中核企業支援貸付制度」や戦略的な海外展開を行う中小企業に対する「グローバルニッチトップ支援貸付制度」により、リスクマネーを供給してまいりました。

再生支援については、各支援機関との連携を一層強化し、能動的かつ抜本的な再生支援

を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金融取引の正常化とその後の成長支援に取り組みでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となつて中小企業と中小企業組合の皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、群馬県中小企業団体中央会様、群馬県をはじめとする地方公共団体や群馬県内の金融機関等の各機関と幅広く連携しつつ、群馬県内地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。